

左の印は、本学の前身である第四高等学校長であった北条時敬（ときゆき）先生の蔵書印である。

先生は、謡曲と囲碁を趣味とされ、米林猷吉、寺尾定吉氏等に師事された地拍子の腕前は余程達者であり、謡いは美声ではなかったが巾のある謡い振りであったと伝え聞く。蔵書印の「江月照松風吹」は謡曲「弱法師」の一節であるが、このことから宝生流の達人であった先生の片鱗を示すものである。

又、謡曲、囲碁（二段位の力とか）に関する書物も大分蒐集され、その研究もまた一通りではなかったようである。本学へ寄贈の六二〇部、一、七二九冊は歴史書が多く、謡曲に関する書物は前田侯爵家に、囲碁関係の資料は日本棋院（四百余冊）に、その他石川県立宮城県立、広島高師、日本青年館に寄贈された。

略歴 安政五年、金沢市池田町にて父条助の二男として生る。金沢英学校、金沢啓明学校にて英語、数学、漢学を修む。明治十八年東京大学理学部数学科を卒業。以後、石川県専門学校教諭、第四高等中学校教諭、第一高等中学校教諭、山口高等中学校教授、山口高等中学校長、第四高等中学校長、広島高等師範学校長、東北帝国大学総長、学習院長等を歴任、昭和四年（七十二才）東京の自邸にて薨去、金沢市寺町宝勝寺（旧鶴米街道）に葬る。

『北条時敬先生頌徳碑』に曰く、
……實業寡慾は遠祖の風、夙夜尽瘁して一意公に奉ず。権貴を憚らず利功を貪らず、蔵



江月
照松
風吹



洋書にのみ押印

北条氏
圖書印

書万巻洋宮に頒付し、薰化四破し顕栄射に随う。一片の石、清風窮りなし。（訳）
黒本稼堂撰并書 （兼六園金沢神社）
（F・N）